

各位

2025 年 1 月 20 日
古河機械金属株式会社

ロックドリル部門：地域の高校生向けに就業体験を実施 ～吉井工場の生産現場で仕事体験～

当社（社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（東京都千代田区、社長：山口 正己）は、このたび、群馬県立藤岡工業高等学校の生徒を対象に吉井工場（群馬県高崎市）にて 3 日間の就業体験を実施しました。

古河ロックドリルは、地域の高校生に対して、工場での製品検査、加工、組立等の現場体験やそこで働く社員とのコミュニケーションを通じて、実際の仕事内容やモノづくりへの興味・関心を高めてもらうこと、また、将来の進路選択の一助となることを目的に、就業体験を定期的に実施しています。各種さく岩機を製造する古河ロックドリルに興味・関心を持ってもらえるよう、今後も就業体験を通じた採用活動に取り組んでまいります。



トンネルドリルジャンボの組立体験

就業体験概要

場所	古河ロックドリル株式会社 吉井工場（群馬県高崎市）
対象	群馬県立藤岡工業高等学校 2 学年 4 名
日数	10 月 15 日～17 日の 3 日間
内容	〈1 日目〉 ・会社説明、工場案内 ・安全教育 ・製品教育 〈2 日目～3 日目〉 ・小物部品の組立体験 ・部品の受入受渡作業体験 ・社員食堂体験 ・トンネルドリルジャンボの組立体験 ・油圧クローダリルの制御盤組立体験

〈問い合わせ先〉

・お知らせに関して
・就業体験に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課
古河ロックドリル株式会社高崎吉井工場 管理部総務課

TEL：03-6636-9501
TEL：027-387-6111



部品の受入受渡作業体験



油圧クローラドリルの制御盤組立体験

古河ロックドリルの主要製品



油圧ブレイカ

油圧ショベルのアタッチメント製品で、岩盤の掘削、岩石の小割、コンクリートの破碎などに使用され、超大型ブレイカや超低騒音ブレイカをラインナップ。高品質かつ高打撃力の油圧ブレイカを世界各地に供給。



油圧クローラドリル

発破用火薬を装填する下向きの孔を岩盤にあける自走式機械。国内外の碎石場、石灰石鉱山等の露天掘り現場で使用。近年ではIoTを活用した稼働サポートシステムを搭載し、顧客の業務効率改善の取り組みを実施。



トンネルドリルジャンボ

山岳トンネル工事現場の最先端である切羽で発破用火薬を装填する孔を掘る機械。国内の道路や鉄道の山岳トンネルのほとんどで使用。現在もリニア中央新幹線や北海道整備新幹線等のトンネル工事で活躍。近年、せん孔作業を自動化した機械も開発。

吉井工場



【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治8）年8月

設立：1918（大正7）年4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,855人 〈単独〉208人 [2024年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山口 正己

事業内容：1914年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設立：1961（昭和36）年6月

資本金：4億円

従業員数：509人 [2024年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawarockdrill.co.jp/>



強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。